IoTの現状
製業

2019年までに、製業の92%がIoTテクノロジーを採用すると予想し、77%はIoTによって製業が変速すると考えています。
しかし、IoTは現在の製業においてどのように利用されているのか、また、今後どのようなことに期待されているのでしょうか。

IoTの利用方法

68% 監視とメンテナンス
54% 連携操作
70% Wi-Fiネットワークを利用したIoTデバイスの接続

IoTがもたらすメリット

83% 事業効率の向上
83% さらなるイノベーション
80% 資源全体の見える化

現在最も普及しているIoTデバイス

62% 化学センサー
46% ピッキングシステム
28% クリーン／フォークリフト

IoTがもたらす脅威

82% セキュリティ侵害被害を防ぐ
50% マルウェア
40% 人のブレーカ
30% スパイウェア

「今後、IoTにより～が可能になる」

55% 建築リスクの削減
44% ダウンタイムの削減
40% 新市場への展開

www.arubanetworks.com/iot
03-6809-1540 | Jinfo@arubanetworks.com